

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-533550 (P2004-533550A)

【公表日】平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2004-043

【出願番号】特願 2002-587680 (P2002-587680)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 1 F 1/10

A 6 1 L 15/16

C 0 8 F 220/18

C 0 8 F 290/00

D 0 4 H 1/54

D 0 4 H 3/16

// D 0 1 F 6/46

【F I】

D 0 1 F 1/10

C 0 8 F 220/18

C 0 8 F 290/00

D 0 4 H 1/54 Q

D 0 4 H 3/16

A 6 1 L 15/01

D 0 1 F 6/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 4 日 (2005.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感圧接着剤成分と、

前記感圧接着剤成分内のミニ微小繊維質有機高分子強化材料と、

を含む感圧接着剤繊維であって、

前記感圧接着剤繊維を含むとともに約 55 g/m^2 の坪量を有する不織ウェブが、降伏点荷重の少なくとも約 150% である少なくとも約 30 g/cm の最大荷重および少なくとも約 50% の破断点伸びを有することを特徴とする感圧接着剤繊維。

【請求項 2】

前記ミニ微小繊維質有機高分子強化材料が実質的に連続のミニ微小繊維を含む、請求項 1 に記載の感圧接着剤繊維。

【請求項 3】

感圧接着剤成分と、

前記感圧接着剤成分内のメタロセン触媒型ポリオレフィンを含む強化材料と、

を含む感圧接着剤繊維であって、

前記感圧接着剤繊維を含むとともに約 55 g/m^2 の坪量を有する不織ウェブが、降伏点荷重の少なくとも約 150% である少なくとも約 30 g/cm の最大荷重および少なくとも約 50% の破断点伸びを有することを特徴とする、感圧接着剤繊維。

【請求項 4】

約 60 重量%～約 95 重量%の感圧接着剤成分および約 5 重量%～約 40 重量%のミニ微小繊維質有機高分子強化材料を含む、請求項 1～3 のいずれかに記載の感圧接着剤繊維。

【請求項 5】

前記感圧接着剤成分が、合成ゴム、スチレンブロックコポリマー、ポリビニルエーテル、ポリ(メタ)アクリレート、ポリオレフィン、シリコンまたはそれらの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の感圧接着剤繊維。

【請求項 6】

前記感圧接着剤成分が、架橋アクリレートコポリマーであって、少なくとも一種のモノエチレン系不飽和アルキル(メタ)アクリレートモノマー、前記アルキル(メタ)アクリレートモノマーのホモポリマーガラス転移温度よりも高いホモポリマーガラス転移温度を有する少なくとも一種のモノエチレン系不飽和ラジカル共重合性強化モノマーを含む共重合モノマーを有する架橋アクリレートコポリマーを含む、請求項 1 に記載の感圧接着剤繊維。

【請求項 7】

請求項 1～6 のいずれかに記載の感圧接着剤繊維を含む不織ウェブ。

【請求項 8】

その上に配置された請求項 7 記載の不織布を有する少なくとも一つの表面を有する剥離ライナー。

【請求項 9】

第 1 の側と第 2 の側とを有する裏地と、
該裏地の第 1 の側の少なくとも一部および任意に該裏地の第 2 の側の少なくとも一部の上に配置された請求項 7 に記載の感圧接着剤繊維を含む不織ウェブと、
を含むテープ。

【請求項 10】

請求項 1～6 のいずれかに記載の感圧接着剤繊維を含む伸縮性除去可能物品および/または医療用物品。

【請求項 11】

切断力および/または伸び力に供された時にミニ微小繊維を形成できる強化材料入りの感圧接着剤を含む溶融混合物を形成する工程と、

感圧接着剤繊維を形成するために前記溶融混合物を切断力および/または伸び力に供する工程と、

前記感圧接着剤繊維を冷却する工程と、
を含む請求項 1 または 2 に記載のミニ微小繊維質強化接着剤繊維を製造する方法。